

# 施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

## ■ 第2次総合計画

基本方針(政策)	8	参加と協働でいきいきと活躍できる環境を築きます
計画項目(施策) ＜施策分野＞	27	国際交流による多文化共生と地域間連携の活性化 ＜国際・地域間連携＞

所管部局	所管部局長の氏名
企画総務部	木村 嘉充
市民部	石嶋 政博

### 1. 総合計画で掲げている目的など

#### PLAN

施策の目的	市民と諸外国の人々との親善活動を通じて、幅広い分野における国際交流を推進し、多文化共生社会の実現をめざすとともに、地域間の連携を進めます。
施策方針(めざす姿)	市民主体の国際交流をより一層推進し、国籍や文化等の違いを認めながら、すべての市民が安心して暮らせる社会の実現をめざします。 また、共通の課題をもつ自治体間で連携協力するとともに、広域での取り組みを行政、関係団体、市民が一緒になって推進します。

#### 【参考】施策に関連する個別計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
京丹後市多文化共生推進プラン	様々な背景を持つ人々が、国籍や文化などのちがいを越え、ともに時間を過ごす仲間として“お互いを思いやる心”を大切に、まちづくりに参画できる多様な社会(多様性社会)の実現を目指し、多文化共生施策をより一層推進するため策定するもの	平成27年3月	平成27年度～平成29年度	

### 2. 行政の主な取組と構成事務事業一覧

#### DO

#### CHECK

行政の主な取組 ↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		事務事業の概要				評価結果	
			H26決算額	H27予算額(一般財源)	根拠法令	財政負担	単独事業	事業種別	施策貢献度	今後の方向性
① 国際交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市民主体で国際交流を推進している国際交流協会の活動を支援します。</li> <li>○ 友好都市をはじめとする諸外国とのさまざまな交流を推進します。</li> <li>○ 市内在住及び来訪する外国人と市民との交流を支援します。</li> </ul>									
1	国際交流活動推進事業	企画政策課	3,542	3,322(3,322)	なし	他	含む	サービス	A	拡大
	京丹後市国際交流協会(会員数:個人149人、5団体)に対して補助金交付									
② 国際化に対応したまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本的な行政サービス提供の主体者として、外国人を含むすべての市民が安心して生活できるよう、教育、医療・保健、福祉、防災等の分野において、必要な支援を行います。</li> <li>○ 多文化共生のまちづくりを推進します。</li> </ul>									
2	多文化共生推進プラン策定事業	企画政策課	919	-	なし	単費	○	内部管理	A	現状維持
	外国人を含めた全ての市民がともに豊かに暮らせるまちづくりを推進するための指針を策定									
③ 地域間連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 京都府北部5市2町、友好都市の木津川市、豊岡市、尼崎市、山陰海岸ジオパーク推進協議会、中日本海交流会議構成自治体等との連携協力を推進します。</li> </ul>									
3	友好都市交流事業	企画政策課	14	49(49)	なし	単費	○	サービス	A	現状維持
	友好都市である木津川市の「木の津まつり」で特産品等のブース出店									
4	森の全国交流拠点管理運営事業	久美浜市民局	717	979(979)	なし	単費	○	維持管理	A	現状維持
	ツリーハウスの保守点検及び管理運営(利用者数697人)									
		計	5,192	4,350(4,350)						

#### 【参考】総合計画で掲げている市民等の役割

市民等の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 多文化共生のまちづくりを推進するための中心的な役割を担います。</li> <li>② 市外の地域との連携を積極的に推進します。</li> </ul>
--------	---

#### 【参考】個別計画で掲げている目標値

指標名	説明・備考	単位	計画作成時	実績値(現状)	目標値
			年度	年度	年度

3. 総合計画で掲げている施策方針(めざす姿)とめざす目標値

施策方針(めざす姿)	市民主体の国際交流をより一層推進し、国籍や文化等の違いを認めながら、すべての市民が安心して暮らせる社会の実現をめざします。また、共通の課題をもつ自治体間で連携協力するとともに、広域での取り組みを行政、関係団体、市民と一緒に進めます。							
めざす目標値	指標名	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度		年度		年度	
	日本語指導ボランティア登録者数	人	30	H26	30	H26	60	H36
	多言語版生活ガイドブックの作成(現在は日本語のみ)	言語	0	H26	0	H26	3	H36
	多文化共生推進に係る研修会等の開催	回	3	H26	3	H26	5	H36
翻訳ボランティア登録者数	人	3	H26	3	H26	10	H36	
姉妹・友好都市提携締結数	都市	1	H26	1	H26	2	H36	

4. 施策方針(めざす姿)に対する現状評価

**CHECK**

施策方針(めざす姿)に対する主な成果(アウトカム)	施策方針(めざす姿)の達成に向けての課題
<p>○京丹後市多文化共生推進プランの策定により、外国人を含めた全ての市民がともに豊かに暮らせるまちづくりを推進するための指針を定めることができた(府内初)。</p> <p>○京丹後市国際交流協会に補助金を交付し、同協会の日本語教室、外国語教室、外国人等との交流推進事業等を支援することで、市民の国際理解及び活動参加を推進した。</p>	<p>○京丹後市多文化共生プランに盛り込まれた具体的施策に取り組むとともに、プランの趣旨や内容に基づく施策について、市民、地域、関係団体等への周知や連携を促進する必要がある。</p> <p>○日本人市民と外国人市民との相互理解を更に深めるため、国際理解及び多文化共生への関心や活動参加を促す取組が必要である。</p>

5. 施策の進捗状況の評価[施策方針(めざす姿)の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

**CHECK**

進捗状況区分	評価	理由
◎ 予定以上に進んでいる	○	京丹後市国際交流協会への補助金交付を通じて、市民の国際理解と活動参加を推進するとともに、外国人市民と日本人市民が共生していくまちづくり施策を推進するための指針として、予定どおり「京丹後市多文化共生推進プラン」を策定することができた。 以上のことから、「予定どおり進んでいる」と評価する。
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

6. 今後の施策展開と歳出抑制の考え方(平成28~30年度までの3か年の主な取組)

**ACT**

区分	No.	具体的内容	説明(特定財源名、補完・代替措置等)
施策展開の考え方	1	多文化共生についての市民の関心・理解を促進するための取組の充実(広報紙等による意識啓発、講演会の開催等)。	
	2	多文化共生プランに掲げる具体的施策の推進(多言語での市政情報の提供、外国人市民への日本語学習機会の充実等)	
	3	国際的な視野を持つ人材の育成、英語の学習機会の充実を図るため、ニュージーランド及びフィジーを候補地とした実地調査を実施。	
歳出抑制(歳入確保)の考え方			

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	03国際交流推進事業	
細事業名	01 国際交流活動推進事業			決算書	P.90
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	⑤ 国際交流と地域間交流の推進	
<b>決算額</b>	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考)当初予算額
<b>3,542千円</b>		<b>3,552千円</b>		<b>10千円</b>	<b>99.7%</b>
					2,752千円
目的	市民と諸外国の人々との親善活動により国際交流を推進し、人・物が活発に交流し活力あふれるまちづくりを図るとともに、多文化共生社会の実現を図る。				
主要な事業及び成果の概要	<p>本市における国際交流、多文化共生を推進するため、日本語教室、外国語教室、外国人等との交流活動等を実施した京丹後市国際交流協会に対して、補助金を交付し活動を支援した。</p> <p>○国際交流協会活動費補助金 <span style="float:right">3,542千円</span></p> <p>【京丹後市国際交流協会の主な実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際理解教室（2回） <span style="float:right">（参加者：約130人）</span></li> <li>・外国語初級講座（英語・中国語 各5回） <span style="float:right">（参加者：英語22人、中国語7人）</span></li> <li>・英語講座（英語でしゃべらナイト・全3回） <span style="float:right">（参加者：30人）</span></li> <li>・多文化共生研修 <span style="float:right">（参加者：40人）</span></li> <li>・多文化共生セミナー <span style="float:right">（参加者：12人）</span></li> <li>・外国につながる子ども・保護者サポーター研修（全3回・参加者：36人）</li> <li>・きょうと留学生ツアーin京丹後市（参加者：留学生33人、受入27ファミリー）</li> <li>・Lunch&amp;TeaParty at 豪商稲葉本家 <span style="float:right">（参加者：38人）</span></li> <li>・インターナショナルクッキング教室 <span style="float:right">（参加者：24人）</span></li> <li>・日本語教室 <span style="float:right">（学習者：33人）</span></li> <li>・日本語初期指導担当者養成講座（計100時間） <span style="float:right">（参加者：2人）</span></li> <li>・他団体との連携事業（講演等） <span style="float:right">（講演等：6回）</span></li> <li>・（公財）ジョイセフへの使用済み切手の寄贈 <span style="float:right">（寄贈：約3kg）</span></li> </ul> <p>【京丹後市国際交流協会の会員数】（平成27年3月31日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人会員：149人</li> <li>・団体会員：5団体</li> </ul>				
主な財源	諸収入 自治宝くじコミュニティ助成金				800千円
評価・課題等	<p>○京丹後市国際交流協会の活動を支援し、同協会により京丹後市の実情にあわせた日本語教室、外国語講座、外国人等との交流推進事業等が積極的に行われた結果、市民の国際理解への関心、国際交流活動への参加が広がっている。</p> <p>○市民主体の多文化共生のまちづくりの啓発・推進に向け、引き続き同協会の活動を支援する必要がある。</p>				
事業所管課	企画総務部／企画政策課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	03国際交流推進事業	
細事業名	02 多文化共生推進 <sup>7</sup> の策定事業			決算書	P.90
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	⑤ 国際交流と地域間交流の推進	
<b>決算額</b>	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考)当初予算額
<b>919千円</b>		<b>1,172千円</b>		<b>253千円</b>	<b>78.4%</b>
					876千円
目的	外国人を含めたすべての市民がともに豊かに暮らせるまちづくりを推進するための指針となる「多文化共生推進プラン」を策定する。				
主要な事業及び成果の概要	<p>多文化共生推進プラン策定委員会の開催や市民の意識調査アンケートを実施するとともに、多文化共生の意識醸成を図るための講演会を実施し、「多文化共生推進プラン」を策定した。</p> <p>多文化共生推進プラン策定委員会 委員：20人 委員会開催回数：4回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○報償費 <span style="float:right">163千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会講師謝金（50千円×1人×2回） <span style="float:right">100千円</span></li> <li>・委員会オブザーバー謝金（5千円×1人×3回） <span style="float:right">15千円</span></li> <li>・翻訳謝金（16千円×3人×1回） <span style="float:right">48千円</span></li> </ul> </li> <li>○旅費 <span style="float:right">55千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員及びオブザーバー費用弁償 <span style="float:right">45千円</span></li> <li>・職員旅費 <span style="float:right">10千円</span></li> </ul> </li> <li>○需用費 <span style="float:right">341千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費（ファイル等） <span style="float:right">22千円</span></li> <li>・印刷製本費 <span style="float:right">319千円</span> （市民アンケート返信用封筒、「多文化共生推進プラン」冊子300冊）</li> </ul> </li> <li>○役務費 <span style="float:right">360千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート郵送料 <span style="float:right">360千円</span> （対象者数：外国人市民249人、日本人市民3,200人）</li> </ul> </li> </ul>				
主な財源					
評価・課題等	<p>○外国人を含めたすべての市民が住みやすい「多文化共生のまちづくり」を実現するため、各種団体代表等により構成する委員会での検討、市民アンケート調査の結果等を反映させた「京丹後市多文化共生推進プラン」を策定することができた（府内初）。</p> <p>○今後は、プランに盛り込まれた具体的施策に取り組むとともに、プランの趣旨や内容に基づく施策について、市民、地域、関係団体等への周知や連携を促進する必要がある。</p>				
事業所管課	企画総務部／企画政策課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	06地域間交流推進事業
細事業名	02 友好都市交流事業			決算書 P.92
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	⑤ 国際交流と地域間交流の推進
<b>決算額</b>	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
	14千円	20千円	6千円	70.0%
				(参考)当初予算額 20千円
目的	平成20年1月11日に友好都市盟約を締結した木津川市との交流を促進し、災害時の相互支援や文化、産業、観光などの分野で交流・連携を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>友好都市である木津川市の「木の津まつり」において、特産品等のブースを設けて京丹後市をPRした。</p> <p>○2014木津川市木の津まつり～感謝祭～ 14千円  開催日時：平成26年11月9日（日）午前10時～午後4時  開催場所：木津川市中央体育館駐車場  内 容：京丹後市・久美浜うまいもん市（参加者16人）  ・普通旅費（職員旅費） 3千円  ・会場借上料（出店ブース借上代） 5千円  ・有料道路通行料 6千円</p>			
主な財源				
評価・課題等	○木津川市とは、少年野球交流事業なども実施し交流を行っている。 ○京都府最北端の本市と最南端の木津川市との交流が民間にも広がるように、友好都市の趣旨・状況などをPRしていく必要がある。			
事業所管課	企画総務部／企画政策課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	09森の全国交流拠点管理運営事業										
細事業名	01 森の全国交流拠点管理運営事業			決算書 P.228										
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	⑤ 観光の振興										
<b>決算額</b>	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)										
	717千円	758千円	41千円	94.5%										
				(参考)当初予算額 758千円										
目的	蒲井・旭地域振興計画に基づき制作したツリーハウスの管理運営を行い、蒲井・旭地域を「心と体と環境に優しい交流の場所」として全国に発信していく。													
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>ツリーハウスの適切な利用が図られる施設の管理運営を行った。</p> <p>○ツリーハウス維持管理経費 717千円  ・火災保険料 3千円  ・ツリーハウス管理委託料 60千円  ・ツリーハウス保守点検委託料 648千円  ・土地借上料 6千円</p> <p>(参考) ツリーハウス利用状況 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>479</td> <td>548</td> <td>383</td> <td>697</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成23年度は、4月からの10月までの7か月間の利用人数</p>					平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	利用者数	479	548	383	697
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度										
利用者数	479	548	383	697										
主な財源														
評価・課題等	○市民だけでなく、京阪神地域を中心とした市外からの利用者もあり利用者の増加とともに、心と体と環境に優しい交流場所として蒲井・旭地域を発信することができた。 ○今後とも積極的なPRを行うなど、ツリーハウス利用者の拡大に向けた利用促進策を展開していく必要がある。													
事業所管課	市民部／久美浜市民局													